

特定外来生物

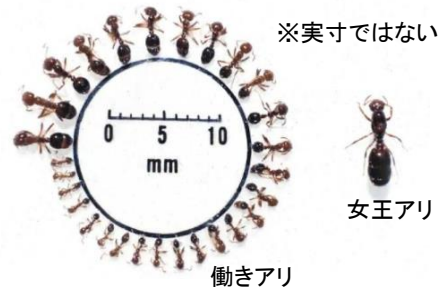
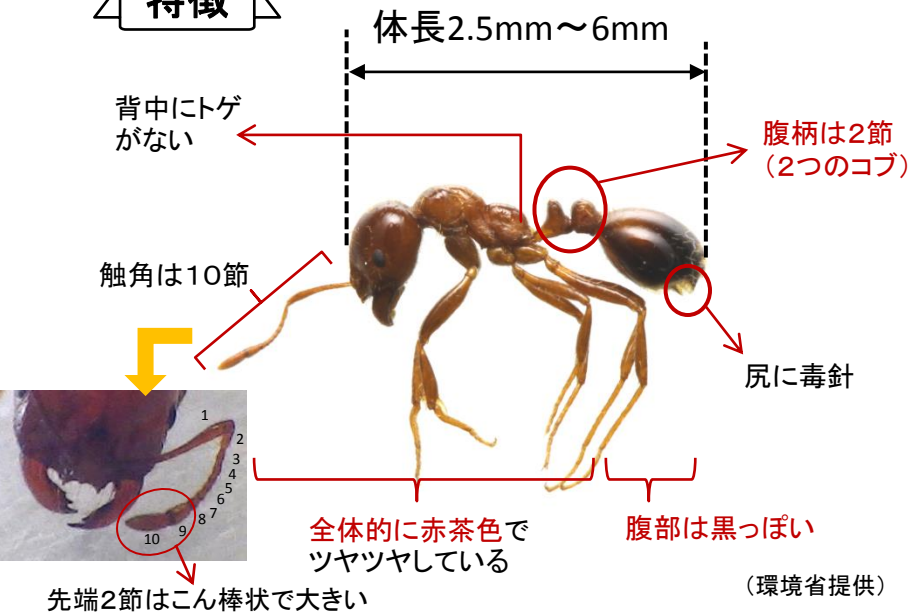
ヒアリにご注意!!



ヒアリの生態

- ・原産地は南米。米国、オーストラリア、マレーシア、中国、台湾など環太平洋諸国に定着。
- ・亜熱帯～暖温帯に生息し、草地など比較的開けた環境を好む。
- ・土で直径25～60cm、高さ15～50cmのドーム状のアリ塚を作る。
- ・極めて攻撃的で、巣を刺激したりすると集団で襲いかかる。ペットや家畜での被害報告もある。
- ・刺されると、火傷のような強い痛みがあり、海外ではアレルギー性ショックによる死亡例の報告もある。

特徴



S.D.Porter, USDA-ARS

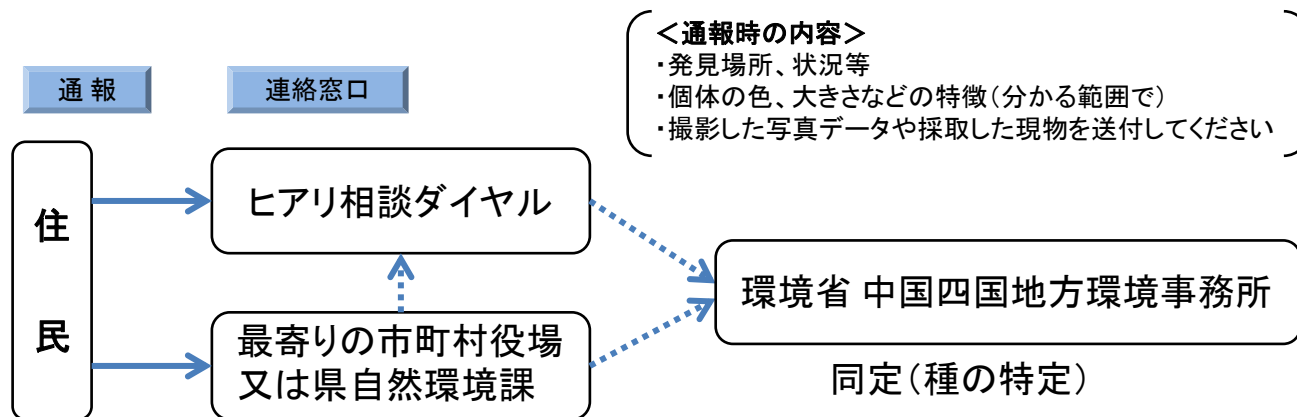
※2.5mm～6.0mmと大小様々な働きアリが混在しているのが特徴

※直径25～60cm、高さ15～50cmのドーム状のアリ塚を作る

ヒアリかな?と思ったら

- ・絶対に素手では触らない! (殺虫後も毒針に注意)
- ・踏んだり、巣をつつくなど、いたずらに刺激しない!
- ・市販のスプレー殺虫剤などで殺虫した後、最寄りの役場等へ連絡する。(裏面参照)
- ・もしも、ヒアリに刺されたら、熱い! と感じるような激しい痛みがあります。
 - 軽度: かゆみ、膿
 - 中度: 数分～数十分後に、腫れ、じんましん
 - 重度: 数分～数十分後に、アナフィラキシー症状(呼吸困難、血圧低下、意識障害)
- ・まずは安静にし、異変を感じた場合は、直ちに最寄りの病院を受診してください。(※ハチ毒アレルギーなどアナフィラキシーの危険がある方はすぐに病院を受診してください。)

発見時の連絡について



【手順】

- ・ヒアリと疑われるアリを見つけたら、環境省ヒアリ相談ダイヤル若しくは最寄りの市町村役場又は県自然環境課へ。
- ・市販の殺虫剤などで殺虫処理した個体をデジカメの接写モードで大きく撮影する。
 - * 表面に記載した特徴が分かるように横から角度を変えて何枚か撮影する。
 - * 物差しなど寸法の分かるものと一緒に撮影する。
- ・撮影が困難な場合は、殺虫処理した個体を小袋や小瓶などで採取する。
- ・上記の写真データや採取した現物を最寄りの連絡窓口へ。

「ヒアリ」に関するお問い合わせ窓口

○最寄りの市町村役場

○岡山県 環境文化部 自然環境課

〒700-8570

岡山市北区内山下2-4-6

☎ 086-226-7309

E-mail sizen@pref.okayama.lg.jp

○環境省 ヒアリ相談ダイヤル

☎ 0570-046-110

※繋がらない場合は「06-7634-7300」にご連絡ください。

受付日時: 土日祝日を含む毎日

(12/29~1/3を除く)

AM9:00~PM5:00

＜港湾管理者・事業者等からの通報の連絡先＞

○環境省 中国四国地方環境事務所 野生生物課

〒700-0907 岡山市北区下石井1-4-1

☎ 086-223-1561

E-mail REO-CHUSHIKOKU@env.go.jp

※ヒアリに関する詳細な情報は「ストップ・ザ・ヒアリ(環境省)」を参照ください。

https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_fireant.pdf

その他のヒアリに関する情報は環境省ホームページをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>